

富士見町

小学校空調配備や水源整備

23年度を10億円余り上回る

富士見町24年度予算案 総額96億7000万円

歳入				
町税	地方交付税	町債	その他	
25.5%	24.6	12.2	11.4	26.3
歳出				
民生費	土木費	教育費	その他	
24.2%	15.0	12.9	11.5	10.0
				26.4

※小数第2位を四捨五入

主な事業(万円)	
教育・福祉	
小学校のエアコン整備(新)	3億3300
新井戸尻考古館建設(新)	4791
部活動地域移行(新)	1124
産業振興・観光	
道の駅信州蓑木宿の再整備(新)	1億200
空き店舗の片づけ費用補助(新)	20
リニア活用ポテンシャル調査(新)	548
基盤整備・防災	
上水道水源施設整備	8億6700
同報無線整備工事(新)	4174
要支援者個別避難計画策定支援(新)	36
住民参加・協働の推進	
集落支援員配置(新)	485
富士見高校との連携に地域おこし協力隊員配置(新)	520

町村の予算

富士見町は20日、総額96億7千万円の2024年度一般会計当初予算案を発表した。過去最大規模だった23年度を10億6千万円上回る大型予算。町内3小学校の全ての教

室にエアコンを配備する事業や貯水池に浄水機能を強化する上水道水源施設整備事業などが重なる。産業振興・観光では、町が所有する道の駅「信州蓑木宿」にある直売所の増築などに1億200万円を計上。リニア

中央新幹線の開業を見据え、山梨県(仮称)利用に関する調査費用548万円を盛り込んだ。現在地の南西側に新館を建設する計画の井戸尻考古館については、設計費用を計上。今年開館50周年を迎え、記念

事業を計画している。

住民参加・協働の推進として、集落の課題課題に取り組む「集落支援員」を置く。茅野高校との再編対象になっていく富士見高校との連携を進める地域おこし協力隊員も配

求められる健全な財政運営

記者はこう見る

富士見町の2024年度当初予算案は、本年度の当初予算をさらに10億円余り上回っている。小学校へのエアコン整備などの「投資的経費」は本年度当初費で3億2500万円増の14億2100万円となるなど健全な財政運営が課題になる。

冷涼とされてきた町でも近年は猛暑が顕著で、先行した中学校に続く小学校へのエアコン整備は「子どもが学ぶ環

境の整備」として3億3300万円を計上。22年度から継続の上水道水源施設整備に8億6700万円を盛った。名取重治町長は20日の予算発表で、大きく膨らんだ予算案について「コロナ禍を乗り越え、力強く踏み出す大型積極予算」と力を込めた。町によると、財源には有利な起債(借金)を活用しており(貯金に当たる)財政調整基金などの切り崩しは回避できたという。今後は総額105億円を見

込む富士見パノラマリゾートの施設更新や、老朽化する橋や道路などのインフラの改修や整備などの大型投資が待ち受けている。健全財政の維持に向け、町は「長期的な視点で考える必要がある」(財務課)としている。

(山本幹太)